

## 低い山の高山植物—美唄山の紹介—

美唄市 新田 紀敏

### はじめに

空知地方は東に夕張・芦別山系、西に樺戸山系と2つの山塊にはさまれており、どちらも知名度は高く訪れる登山者も多い。また標高は1000mを越え、多くの高山植物・固有種・希少種が見られる。その間にはあまり知られていないが、石狩川と幾春別川水系・芦別川水系に挟まれこぢんまりとした山塊がある。1000mを越える山はなく、整備された登山道もほとんどない。そんな山塊の最高峰が美唄山（びばいさん）で美唄市と芦別市・奈井江町の境界にある（図1）。山頂に一等三角点がありそこに書かれた標高は986.6m（2008年改訂値）とわずかに大台に届かない。産炭地らしくすぐそばには石炭の露天掘りがあり、時々発破の音が聞こえるという世間く



図2 山頂遠望

さい山である。

付近で一番高いため眺望は良く、西には樺戸の山々、東に夕張・芦別山系、北は大雪山・十勝山系が望まれる。また、距離的に近い峠山がよく見える。標高としては森林限界に届かず、山頂までダケカンバ林が続く（図2）。東面は夏の季節風が当たるためか、わずかな面積ではあるが風衝草原が見られる（図3）。この中を登山道が通っており、言っては悪いが申し訳程度に高山植物が見られる。あまり登山者も多くなく、知名度は低いですが山開きには100人近い人

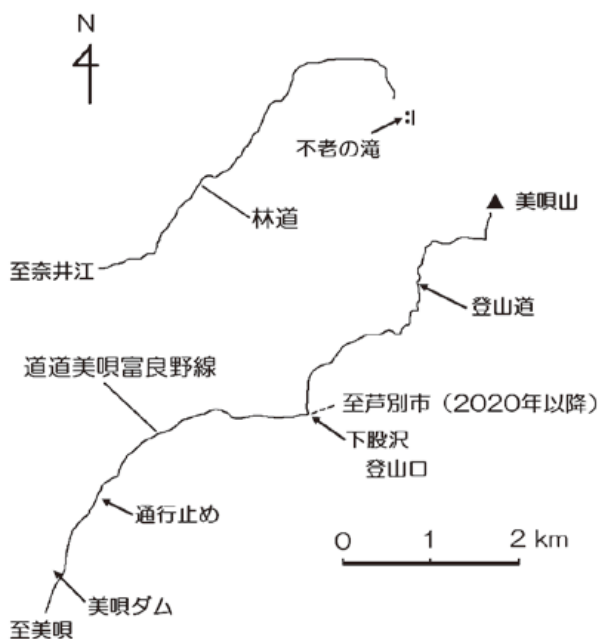


図1 美唄山位置図



図3 風衝草原に咲くエゾノヨロイグサ